

	千葉大学 保健系分野（薬学）
学部・研究科名	薬学部（薬科学科（4年制）：40名、薬学科（6年制）：40名） 大学院医学薬学府（M：77名、D3：15名、D4：108名）
沿革・設置目的	<p>第一高等中学校医学部薬学科を源流に、第一高等学校医学部薬学科、千葉医学専門学校薬学科、千葉医科大学附属薬学専門部を経て、昭和24年、薬学に関する教育・研究を行うことを目的として、千葉大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 千葉大学設置と同時に薬学部設置</p> <p>昭和39年（1964年） 大学院薬学研究科設置（平成13年（2001年）医学薬学教育部（薬学研究部）に改組、平成16年（2004年）医学薬学府（薬学研究院）に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成18年（2006年） 薬学科（6年制）及び薬科学科（4年制）に改組</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チーム医療の中で職能を発揮し活躍できる高い研究マインドを持ち、病院、薬局、公衆衛生の職域で指導的立場に立てる薬剤師、医薬品開発職あるいは医療行政職として医療に貢献できる人材を育成するとともに、医薬連携による「治療学」拠点形成を目指した先端的な研究活動を通じて、「治療学」の理論的背景を持ち第一線で活躍できる国際的な創薬研究者を育成する。</li> <li>○ 医療系3学部（医学部・薬学部・看護学部）が附属病院との連携下で多年次積上型の教育プログラムとして開発し、先端的に実施してきた専門職連携教育（IPE）や連携実践（IPW）を発展、進化させ、専門職連携体系の構築と次世代対応型医療人育成を実践、普及させる。</li> <li>○ 植物科学と薬物動態学・毒性学を基盤とした創薬研究を推進し、医学部、附属病院及び学外機関との連携によって「治療学」として展開するとともに、地域薬剤師の生涯教育や、他大学や県薬剤師会等との連携による社会的課題等への対応を進める。</li> </ul>